

令和7年度
事業報告書



社会福祉法人
千葉アフターケア協会

目 次

はじめに	2
【法人全体の取り組み】	
令和7年度法人目標について	3
中長期目標について	3
【令和7年度業績報告】	4
【令和7年度資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表の抜粋】	5
【役員会等開催報告】	6
事務局	7
<u>障害者支援施設ハピネス浜野</u>	8
生活介護	9
施設入所支援	10
短期入所	11
医務室・リハビリ	12
【利用者行事等実施報告】	13
【利用者週間活動実施報告】	15
【ヒヤリハット報告】	15
【事故報告】	16
【千葉県への事故等報告・苦情等】	16
<u>相談支援事業所ハピネス浜野</u>	
計画相談支援・障害児相談支援	17
<u>指定障害児通所支援事業所ハピネス浜野</u>	19
児童発達支援	21
放課後等デイサービス	22
<u>グループホームセレニテ</u>	
共同生活援助	23
【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】	25
【法人内委員会・諸会議実施報告】	26

は じ め に

令和7年度は、各事業ともに感染症対策を継続し、利用者の体調管理に努めた。

障害者支援施設では、利用者の減少で満床となっておらず、短期入所の新規利用者獲得等行ったが、増収には及ばなかった。リスクマネージャーを中心に、ハピネス浜野設立前からある法人内の古い物品や資料等を含め、断捨離することにより、使いやすい施設となるよう取り組んだ。介護事故が発生し、理事会と相談し事故対応に努めた。

グループホームセレニテでは、1空床で、就労する利用者等の区分が軽いこともあり、増収とはなっていない。地域連携推進会議を実施することができた。

障害児通所支援事業では、利用児童の欠席等もあり減収となった。

相談支援事業では、基幹相談支援センターとの協働等により、地域連携を図り、利用に繋がるアプローチができた。

淑徳大学経由で台湾から大学生の見学者を受け入れて国際交流を図った。

【事業報告書において記載されている主な内容】

- ・令和7年度の目標やサービス方針に対しての報告事項
- ・当初予算対比の結果
- ・直近5年間の利用者の推移
- ・行事等実施報告
- ・事故に関する報告

【役員等総数】※令和8年3月31日現在

理 事 6名

監 事 2名

評議員 8名

評議員選任解任委員 4名（うち外部委員2名）

苦情解決第三者委員 2名

【職員総数】

54名（令和8年3月31日現在）

【法人全体の取り組み】

令和7年度法人目標について

法人の総合力を高める
～法人内事業所の運営強化～

- 法人の強みを活かす組織作り
- 地域生活拠点としての施設運営と地域連携の強化

[報告事項]

- | |
|--|
| 1) 職員が協力しながら断捨離（物的・電子データの）を行い、視覚化や風通しの良い組織づくりの実現を目指した。 |
| 2) 事業所間の情報共有や各事業所職員でチームを作り、カスハラ対策等を実施した。 |
| 3) 市内基幹相談支援センターとの協働で、利用者獲得や困難事例に対応した。 |

中長期（令和6年度から3年間）目標について

1. 社会福祉法人の使命の追及

- ①新規事業の計画検討
- ②専門職員の育成
- ③施設運営課題の検討

[報告事項]

- | |
|--|
| 1) 新規事業の需要や採算見込みなどを継続して検討していく。 |
| 2) キャリアパス研修への参加や計画的なOJTを実施した。 |
| 3) 利用者獲得に向け基幹相談支援センターと共同、連携する道筋を立て、継続していく。 |

2. 地域と共にある施設づくり

- ①自然災害への防災対策
- ②利用者の尊厳を尊重し、安全・安心な福祉サービスを提供する
- ③快適な生活のための施設整備を実施する

[報告事項]

- | |
|---|
| 1) 地域連携推進会議において水害等発生時の協力体制について協議した。 |
| 2) 各委員会が内部研修やアンケートを実施し、安定したサービス提供を目指した。 |
| 3) 施設内環境整備（清掃等）のため語学留学生3名をアルバイトとして採用した。 |

3. 職場環境の整備

①職員育成のための教育制度の充実を図る

②チームによる支援体制を構築する

[報告事項]

1) リーダーの育成、人材定着、職員のスキル向上のため、外部研修を勧めた。

2) 部署、委員会でのチームアプローチに取り組んだ。

採用 9名（入職率：5年度 14/53 26.4% 6年度 6/55 10.9% 7年度 9/54 16.6%）

退職 13名（離職率：5年度 13/53 24.5% 6年度 8/55 14.5% 7年度 13/54 24.0%）

（退職の主な理由は非正規の期間満了や転居などの私事）

長期目標

1. 社会福祉法人の使命の追及

2. 地域と共にある施設づくり

3. 職場環境の整備

【令和7年度業績報告】

1 事業の経過及びその成果

サービス活動収益について

1) 令和7年度は、各事業の当初予算を前年実績同様とした。

2) すべての事業において、平均利用者数が当初予算より減となった。

支出について

＜建物・設備等＞

パソコン更新、事務用椅子入替、太陽光発電系統調査及び電源振替工事を実施した。

＜人件費・事業費・事務費＞

（指標％）	令和6年度	令和7年度	前年比
人件費率（60～70％）	68.8％	70.2％	1.4％増
事業費率（13～15％）	14.1％	14.8％	0.7％増
事務費率（13～15％）	15.4％	17.1％	1.7％増

法人全体での予算・実績対比と前年度との比較

1) 資金収支計算書上の決算額は、概ね予算どおりの内容となった。

2) 事業活動計算書について、サービス活動収益は前年と比較して8,595千円の減収となった。

2) 今年度の経常増減差額は△34,037千円となった。

社会福祉充実計画について

社会福祉充実残額が0円以下であったため、社会福祉充実計画の策定は不要であった。

2 【資金収支計算書】

(単位：千円)

	予 算	決 算	差異（予算－決算）	
事業活動収入	324,707	325,735	△1,028	(100.3%)
事業活動支出	331,902	330,545	1,357	(99.6%)
事業活動資金収支差額	△7,195	△4,809	△2,386	
施設整備等収入計	0	0	0	
施設整備等支出計	9,213	9,091	122	(98.7%)
施設整備等資金収支差額	△9,213	△9,091	△122	
その他の活動収入計	5,000	5,000	0	(100.0%)
その他の活動支出計	1,727	1,652	75	(95.7%)
その他の活動資金収支差額	3,273	3,348	△75	
予備費支出	2,500	0	2,500	
当期資金収支差額合計	△15,635	△10,552	△5,083	

3 【事業活動計算書】

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度	対 比	
サービス活動収益	332,685	324,089	△8,596	(97.4%)
サービス活動費用	351,656	358,831	7,175	(102.0%)
増減差額	△18,971	△34,742	△15,771	
サービス活動外収益	1,626	1,646	20	(101.2%)
サービス活動外費用	1,526	941	△585	(61.7%)
サービス活動外増減差額	100	705	605	
経常増減差額	△18,871	△34,037	△15,166	
特別収益	2,238	0	△2,238	(0.0%)
特別費用	102	0	△102	(0.0%)
特別増減差額	2,136	0	△2,136	
当期活動増減差額	△16,735	△34,037	△17,302	

4 【貸借対照表】

(単位：千円)

	令和6年度	令和7年度	対 比	
流動資産	94,495	80,764	△13,731	(85.5%)
固定資産	961,644	922,058	△39,586	(95.9%)
資産合計	1,056,139	1,002,822	△53,317	(95.0%)
流動負債	18,549	17,269	△1,280	(93.1%)
固定負債	29,064	26,511	△2,553	(91.2%)
負債合計	47,613	43,780	△3,833	(91.9%)
純資産	1,008,526	959,042	△49,484	(95.1%)

【役員会等開催報告】

1 監事監査

令和7年5月23日（金） ハピネス浜野

令和6年度法人事業経営の監査

2 理 事 会

第1回理事会 令和7年4月16日（水） ハピネス浜野

議題 議案第1号 新評議員候補の推薦について

議案第2号 新評議員選任・解任委員候補の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集等について

議案第3号 新理事・監事候補の推薦について

第2回理事会 令和7年6月4日（水） ハピネス浜野

議題 議案第1号 人件費積立金の一部取崩について

議案第2号 令和7年度第一次補正予算（案）について

議案第3号 令和6年度事業報告（案）について

議案第4号 令和6年度決算報告（案）について

議案第5号 定時評議員会の招集について

議案第6号 相談役の選任について

第3回理事会 令和7年6月20日（金） オークラ千葉ホテル ブリストルⅡ

議題 議案第1号 理事長、業務執行理事の選定について

第4回理事会 令和7年9月2日（水） 書面決議

議題 議案第1号 育児・介護休業等に関する規程の一部改正（案）について

第5回理事会 令和8年1月28日（水） 書面決議

議題 議案第1号 給与規程の一部改正（案）について

議案第2号 パートタイマー等給与規程の一部改正（案）について

第6回理事会 令和8年3月17日（火） ハピネス浜野（評議員傍聴）

議題 議案第1号 令和7年度第二次補正予算（案）について

議案第2号 生活介護定員変更について

議案第3号 令和8年度事業計画（案）について

議案第4号 令和8年度当初予算（案）について

議案第5号 評議員選任・解任委員会の委員変更について

3 評議員会

定時評議員会 令和7年6月20日（金） オークラ千葉ホテル ブリストルⅡ

議題 議案第1号 令和6年度 事業報告書の承認について

議案第2号 令和6年度 決算報告書の承認について

議案第3号 次期、理事並びに監事の選任について

4 評議員選任・解任委員会

評議員選任・解任委員会 令和7年5月8日（木） ハピネス浜野

議題 議案第1号 評議員の選任について

事 務 局

【事務局長 事務員4名 管理栄養士1名 環境支援員4名 ドライバー4名】

1 法人事務

[報告事項]

- 1) 令和7年度の報酬改定に準じた体制届を作成し、行政に届け出を行った。
- 2) 福祉・介護職員等処遇改善加算（新加算）への一本化に応じた事務処理を実施し、法人職員へ支給することができた。
- 3) 税理士との打合せを月1回行い、適切な会計処理に努めた。
- 4) パソコン更新、事務用椅子入替、太陽光発電系統調査及び電源振替工事を実施した。
- 5) 時間外勤務の実態把握に努め、職員の健康管理に配慮した。また、職員一人ひとりに勤怠の意識づけを促した。
- 6) 事務処理上における事故やヒヤリハットの削減に努めた。
- 7) 地域連携推進会議を開催し、利用者と地域の関係づくり等について協議した。
- 8) 台湾大仁科技大学社会工作学科生15名の見学者に施設案内・懇話会を実施した。

2 防犯、防災計画

[報告事項]

- 1) 総合避難訓練：震度6強の地震による火災発生を想定し、初期消火（模擬動作）、119番への通報訓練、館内放送、避難誘導を含む訓練を6月25日に実施した。
- 2) 水害想定避難訓練：大雨・洪水警報を想定し、高い場所（3階）への避難誘導訓練を10月29日に実施した。
- 3) 夜間想定避難訓練：夜間（23:00）に火災が発生した事を想定、火災発見から初期消火（模擬動作）、119番通報訓練、利用者の避難誘導訓練を3月11日に実施した。

3 食事提供

[報告事項]

- 1) 食事形態を話し合い、利用者の状況に合わせて適宜変更を行った。
- 2) 行事食は季節・行事メニューを月1回のペースで提供した。
- 3) 日常食材と備蓄食の在庫管理を徹底し、非常時への備えと食品ロスに対して真摯に取り組んだ。

障害者支援施設ハピネス浜野

(生活介護・施設入所支援・短期入所)

【施設長 サービス管理責任者 2 名 生活支援員 25 名 医務 4 名 リハビリ 2 名】

目標

- ・利用者の意思と人格を尊重し、その人らしい生活が営めるよう支援する。
～意思決定支援～

[報告事項]

- 1) 入所が 3 床空床。1 名入院中。
- 2) 意思決定支援への取り組みを意識したが十分に実施できなかった。
- 3) 生活の場面で各利用者が自分の意見を出せるよう配慮した。
- 4) ケース会議の実施が定着してきた。
- 5) モニタリング強化のため、個別指導を行った。
- 6) 各階のメンターを中心にチームアプローチに関する課題に取り組んだ。

【利用者年齢構成】

令和 8 年 3 月 31 日現在

		10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	計 (人)
入所 利用者	男	0	1	2	1	5	5	2	0	16
	女	0	0	0	3	5	4	1	1	14
通所 利用者	男	0	7	3	3	0	0	0	0	13
	女	0	6	0	3	1	0	0	0	10
計		0	15	5	10	11	9	2	0	53

【利用者平均年齢】

入所利用者 55.9 歳

通所利用者 32.5 歳

生活介護

目標

- ・利用者の声を聴き、その人に必要なサービスをチームで提供する。
- ～モニタリング・ケース会議の定着～
- ・利用者が楽しいと思える空間を提供する。
- ～行事・活動の充実～

[報告事項]

- 1) ケースカンファ実施のため、モニタリングの強化を図った。
- 2) 介護事故に対して振り返りを行い、その後の対策を強化・継続した。
- 3) 設備面
ねむの木トイレ内にマルチベッド1台を設置した。
3階浴室に移動式リフトを2階浴室にマルチベッド1台を設置した。

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	12,436	11,425	△1,011
1日あたり平均利用者数（名）	48.4	44.3	△4.1（91.5％）
事業収入（千円）	203,577	179,663	△23,914（88.3％）

【直近5年間の利用者の推移】

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
利用者定員（名）	60	60	60	60	60
1日あたり平均利用者数（名）	52.1	50.0	48.4	45.2	44.3
稼働率（％）	86.7	83.3	80.7	75.3	73.8
稼働日数（日）	259	261	257	257	258
利用者延べ人数（名）	13,587	12,558	12,436	11,624	11,425
事業収入（千円）	211,876	201,538	186,590	190,096	179,663
平均障害支援区分	5.8	5.7	5.5	5.5	5.9

施設入所支援

目標

- ・利用者の立場に立って必要なサービスの提供に努める。
- ・これからも安全に暮らせるよう利用者とともに住環境を整える。

[報告事項]

1) 健康管理、感染対策	医務室と連携を図り、利用者の体調の変化に留意し、早期発見・早期治療に繋げ、家族への連絡も遅滞なく行った。
2) 活動等	千葉市障害者スポーツ大会、諏訪神社の初詣や節分祭等の行事に参加した。 県身協主催のオセロ大会、ボッチャ大会に参加した。 施設内オセロ対会では、入所利用者有志が職員に挑戦し、利用者の圧勝だった。
3) 利用者懇話会（今年度は1回実施）	施設からの連絡事項の伝達や、利用者との意見交換を行った。
4) 支援内容等	空居室を短期入所に利用者した。

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	11,049	10,864	△185
1日あたり平均利用者数（名）	30.2	29.8	△0.4（98.6%）
事業収入（千円）	89,013	79,495	△9,518（89.3%）

【直近5年間の利用者の推移】

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
利用者定員（名）	32	32	32	32	32
1日あたり平均利用者数（名）	31.5	30.6	30.2	29.5	29.8
稼働率（%）	98.4	95.6	94.3	92.2	93.1
稼働日数（日）	365	365	366	365	365
利用者延べ人数（名）	11,493	11,170	11,049	10,777	10,864
事業収入（千円）	78,421	78,217	76,300	77,654	79,495
平均障害支援区分	5.4	5.3	5.3	5.3	5.3

短期入所

目標

- ・利用者や家族の生活状況に応じ、希望に沿った利用ができるよう体制を強化する。

[報告事項]

- 1) 地域機関との連携等で、新規利用者の獲得ができた。
- 2) 恒常的に利用する利用者へは、できる範囲で希望に沿った利用ができるよう調整を行った。緊急な延長や変更についても柔軟に対応した。
- 3) 利用者自身だけでなく、家族の事情にも応じて、ベッドコントロールを行った。

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	1,578	1,708	130
1日あたり平均利用者数（名）	4.3	4.7	0.4（109%）
事業収入（千円）	16,427	24,490	8,063（149.1%）

【直近5年間の利用者の推移】

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	4.9	3.7	4.3	4.5	4.7
稼働率（%）	81.6	61.7	71.7	75.0	78.3
稼働日数（日）	365	365	366	365	365
利用者延べ人数（名）	1,791	1,345	1,578	1,657	1,708
事業収入（千円）	22,944	17,680	20,864	23,281	24,490
平均障害支援区分	5.7	5.5	5.8	6	5.7

医 務 室

[報告事項]

- 1) 利用者様の健康管理・医務室対応受診
皮膚科定期受診3名、眼科1件、発熱6件、整形1件、救急搬送（呼吸状態悪化・心肺停止・転落）3件であった。
- 2) 皮膚科通院
定期受診（レインボー皮膚科）以外の受診に関してはご家族での受診対応を依頼した。
- 3) 月1回嘱託医診察では、利用者の体調管理と服薬・軟膏処置管理等を相談しながら健康管理維持に努めた。
- 4) 月2回の歯科医師による訪問診療では、入所利用者28名+セレンテ2名が歯石除去、虫歯治療、義歯調整、歯磨き指導等を受けた。
- 5) 入所者名（希望者）4名に大腸がん健診実施（10月）し、全員陰性であった。
- 6) インフルエンザ予防接種に30名（入所27名+セレンテ3名）接種（11月）。
- 7) 入所利用者にインフルエンザ1名発症も各部署と連携を図りソーシャルディスタンス・感染者の居室・感染隔離を行い、PPE装着、換気とマスク着用、手洗い・使い捨て食器対応など感染対策を行った。又、新型コロナ感染症については入所利用者の発生は見られず、他利用者の体調の変化に留意し、早期発見、早期対応に努めた。
- 8) 生活介護通所利用者の病状変化に伴い医療ケア（膀胱瘻留置カテーテル管理（3名）、胃瘻・経管栄養管理（2名）、気管切開部管理（2名）、また、児発・放デイ利用児4名に経管栄養管理を行った。
- 9) 利用者の体重・栄養・食事摂取状況を観察し体重増・減少者に対しては、栄養士・支援課・嘱託医診察時に相談し、食事量の調整、栄養補助（エンシュア等）にて体重管理を行った。またご家族と連携に努め対応した。
- 10) 入所利用者・短期入所利用者1名に定期健康診断を前年度分1回は5月に、今年度分を2回実施した。結果を嘱託医および家族に連絡し、主治医への相談・連携も図った。
- 11) 今後さらに利用者の高齢化と障害に伴い、健康状態の悪化や医療ケアの必要度と身体的な急変時の対応が必要になってくると思われる。また医療的ケア児の増加に伴い個別性に沿った対応や看護が求められる。疾病予防や早期発見に力を入れるとともに職員全体で情報の共有を図り、感染予防と健康の維持に努めたい。
- 12) 衛生物品等の管理

リハビリ

[報告事項]

- 1) 理学療法士と作業療法士（8月入職）により、入所利用者に対して週1～2回、通所利用者に対しては1週1回の頻度でリハビリテーションを実施した。利用者の身体状況に応じて1回につき20分から60分の間で行った。
- 2) 介入効果の判定も行い、関節可動域、筋力、動作安定性の3点を評価項目にした。
- 3) ADL動作については実動作訓練および環境面への評価、必要に応じた環境面へのアプローチを行った。
- 4) リハビリテーション総合実施計画書を6か月に1回作成した。
- 5) 車椅子および下肢補装具等の修理・新調について、必要に応じて専門業者と評価を行い、ご家族や施設職員の意向を踏まえて実施した。

【利用者行事等実施報告】

月	行 事	場 所	行事食・その他
4 月	お花見（10～13 日）	諏訪神社	お花見弁当
5 月	千葉県障害者スポーツ大会（10 日） 兜飾り 健康診断（7 日）	青葉の森公園陸上競技場 ねむの木広場 2 階フロア、集会室	端午の節句メニュー
6 月	県身協オセロ大会（11 日） 総合避難訓練（25 日）	上総アカデミアホール 全フロア	リクエストメニュー
7 月	七夕飾り	各階フロア	七夕メニュー
8 月	生実池花火大会鑑賞（15 日） 浜野町盆踊り（17・18 日） アイスクリームパーティー（25 日～）	集会室、ベランダ 本行寺 各フロア	土用の丑の日メニュー
9 月	花火（26 日） 利用者健康診断（10 日）	駐車場 2 階フロア、集会室	
10 月	お月見（6 日） ハロウィンウィーク（仮装） 県身協ボッチャ大会（23 日） 水害想定訓練（29 日）	2 階バルコニー、集会室 各階フロア 千葉市ハーモニープラザ 全フロア	月見バーガー ハロウィンメニュー
11 月	インフルエンザ予防接種（19 日）	入所フロア	リクエストメニュー
12 月	クリスマス飾り	各階フロア	クリスマスメニュー 年越しそば
1 月	初詣（1 日） 懇話会（14 日）	諏訪神社 3 階フロア	おせち料理 七草粥・白玉汁粉
2 月	節分祭（3 日） 浜野町会オセロ大会（23 日）	諏訪神社 浜野会館	節分メニュー
3 月	ひな壇飾り 利用者健康診断（25 日） 夜間想定訓練（10 日）	ねむの木広場 2 階フロア、集会室 2・3 階フロア	ひな祭りメニュー
毎月	【理美容】 アラモード（第 3 月曜） 髪人（第 3 火曜） 【ボランティア活動】 ボッチャ（偶数月 第 2 水曜）、車椅子ダンス（毎月 第 2 月曜日） 歌を楽しむ会（令和 7 年 2 月から再開、毎月 水曜日） 【オセロ対会】 入所利用者有志 v s 職員 【その他】 体重測定（1 回） 嘱託医診察（1 回） 訪問歯科診療（2 回） みんなの声ポスト確認（月初）		

千葉県障害者スポーツ大会

4名の参加者は日頃の運動の成果を発揮するとともに、大会の雰囲気を楽しんだ。昼食はアリオ蘇我のフードコートで各々が食べたい物を購入し飲食を楽しんだ。

サマーフェス

アイスクリームパーティーと名付けた企画として、ねむの木広場や各フロアを職員が扮したアイスクリーム屋さんが回り楽しんだ。生実池花火大会当日は、おうちドリンクと称し、好きな飲み物を用意して集会室から鑑賞した。駐車場を会場にして花火を行い、多くの参加利用者が職員と共に大変盛り上がった。お月見の日は月見バーガーを食べて雰囲気を楽しんで、サマーフェスを締めくくった。

クリスマス

保護者会からいただいたケーキを食べてクリスマスの雰囲気を楽しんだ。

行事食

季節行事を意識した献立で昼食を提供した。

利用者懇話会

通所・入所利用者が参加し、感染予防対策や行事、日々の活動、食事について話し合った。

オセロ大会（県身協主催）

入賞は出来なかったが、日ごろの練習の成果を十分に発揮され、来年度に向けて意欲を高められていた。

ボッチャ大会（県身協主催）

2回目の参加となり、練習の成果を発揮した。

オセロ対会（施設内）

障害児通所支援事業所職員が、日程調整、会場設営、写真撮影、対戦相手への挑戦状作成など尽力してくれたおかげで、ねむの木広場で入所利用者有志と職員によるオセロ対会（対決と大会の造語）をほぼ毎月実施することができた。

日中活動

【物作り】各フロアの壁面装飾として、折り紙や色画用紙を使い季節ごとの花を作成した。

また、季節ごとに入れ替えたりしながら創作活動を行った。

【季節活動】お花見（近隣の公園）七夕（短冊を作成、笹に飾る）、花火大会（生実池花火大会見学）、クリスマスと、各季節に応じた活動を行った。

【外出活動】諏訪神社節分祭に参加した。浜野町の盆踊り大会は、焼きそばなどを食べて楽しんだ。外泊が無い利用者は、久々の外出で自身の欲しい物を選択し買い物できたことを喜ばれていた。

【利用者週間活動実施報告】

	午 前	午 後
月曜日	機械浴(通所利用者男女) 各種個別活動	各種全体活動 (ボランティアによる活動) 機械浴(入所男性)
火曜日	機械浴 (通所利用者男女) 各種個別活動	各種全体活動 機械浴 (入所女性)
水曜日	機械浴 (通所利用者男女) 各種個別活動	各種全体活動 (ボランティアによる活動) 体重測定 嘱託医診察 (施設入所支援利用者のみ)
木曜日	機械浴 (通所利用者男女) 各種個別活動	各種全体活動 機械浴(入所男性) 訪問歯科 (入所者・入居者のみ)
金曜日	機械浴 (通所利用者男女) 各種個別活動	各種全体活動 機械浴 (入所女性)
土曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備
日曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備

【ヒヤリハット報告】 計 219 件

区分

外傷/転倒/転落前	5	修理/交換	23
他害前	0	整備不良	23
医療関係前	8	確認不足	37
食事関係	15	返戻忘れ	22
事務処理関係	24	不適切ケア	7
物損関係	27	その他	28

年度	R 5	R 6	R 7
件数	83	84	219

人身系	O (異常あり影響なし) : 27 1 (異常あり影響あり) : 43		
物損系	S (不具合) : 76 A (破損しそうになる) : 8 B (不注意による発生) : 26		
事務系	X (不利益が生じそうになる) : 38		

分類を明確にし、区分を整理したことにより、報告が上げやすくなった。件数が3倍近く増えたのは、些細なヒヤリでも報告しようという意識が定着した結果と考える。

確認不足や返戻忘りは、他職員が行っていると思っていたり、自身がやったと思い込んでいたり等のヒューマンエラーが多い。物損の経年劣化についてはヒヤリハットと分類した。

報告内容に対して、リスクマネジメント委員が再発防止に向けた検討を行い、報告者へフィードバックを実施した。

【事故報告】 計 166 件

区分

外傷	27	物損 修理	6
転倒	17	物損 交換	2
転落	13	物損 購入	0
他害	1	物損 弁償	1
誤薬・落薬	8	物損関係	8
医療関係	8	返戻関係	18
誤飲・誤嚥	0	事務処理関係	31
食事関係	10	その他	13
異物混入	3		

年度	R 5	R 6	R 7
件数	87	94	166

人身系	2 （処置なし）：62 3 （簡単な処置）：29 4 （医療機関での処置）：3 5 （障害が残る）：0 6 （死亡）：0		
物損系	C （破損や紛失）：35 D （破損・故障で使用困難）：10 E （車両事故）：0		
事務系	Y （経済的不利益 1 万円以下）：20 Z （経済的不利益 1 万円以上）：6		

利用者の自立度が高いため、処置は必要ないが経過観察を要する事故が多い。備品等の破損には使用時の注意事項を掲示し、声をかけて注意喚起した。事務系では請求ミスや食事変更届の出し忘れ等があった。

【千葉市への事故報告】

2 件

- 1、入所利用者 女性（朝食介助中に意識混濁となり、チアノーゼ発生し救急搬送）
- 2、通所利用者 男性（入浴前の脱衣介護中にストレッチャーから転落し、うつ伏せの状態で負傷し救急搬送）

【千葉市への感染症報告】

なし

【苦情等について】

「みんなの声」ポストへの投函はなかった。また、苦情に繋がる相談もなかった。

相談支援事業所ハピネス浜野

(計画相談支援・障害児相談支援)

【管理者 1 名（兼務） 相談支援専門員 1 名】

目 標

- ・地域に密着した支援、障害児・者や家族の思いを可能な限り実現できるよう相談を行う。
- ・勉強会や相談支援に必要な研修に参加し、異業種、他事業所との交流に努め、ネットワークを構築していく。
- ・福祉や相談に関する知識・技術の習得に努め、知識・技術に基づいた様々な対応ができる知恵と高い専門性を持てるよう継続的に研鑽を積む。

[報告事項]

- 1) 計画相談支援契約総数 101 名（令和 8 年 3 月 31 日時点）。新規契約は障害者 3 名。障害児 3 名。契約終了者は、障害者 5 名。障害児 1 名。内訳は、死亡終了 1 名、介護保険サービスへの移行 1 名、サービス利用の希望なし 2 名、事業所変更 2 名。
- 2) 利用者や家族へのモニタリングは事前に希望を確認し、可能な限り訪問や電話で行い、時間の都合のつかない場合はメール等で実施した。病院以外はほぼ訪問可能となり、事業所へは事前に対応状況を確認し、可能な限り訪問を行い、利用者の現状や各事業所の運営内容を理解した。事業者間の連携、情報交換を行い、新規利用者の獲得につなげていった。
- 3) 相談支援関係の研修や意見交換会に積極的に参加し、情報交換や交流、スキル向上に努めた。

【資金収支計算書による予算・実績】

	計画	実績	差異
計画相談支援事業収入（千円）	2,700	3,136	436（116.1%）
障害児相談支援事業収入（千円）	1,440	1,764	324（122.5%）
合 計	4,140	4,900	760（118.4%）

【直近 5 年間の利用者の推移】

(計画相談支援)

	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
計画書作成件数 (件)	74	86	51	34	54
モニタリング件数 (件)	225	179	213	167	177
新規契約件数 (件)	5	1	2	0	3
3 月 31 日時点契約件数 (件)	98	94	72	71	69
事業収入 (千円)	4,709	4,061	3,443	2,769	3,136

(障害児相談支援)

	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
計画書作成件数 (件)	43	35	39	38	34
モニタリング件数 (件)	73	44	79	75	94
新規契約件数 (件)	11	0	5	6	3
3 月 31 日時点契約件数 (件)	35	34	34	30	32
事業収入 (千円)	2,023	1,328	1,455	1,564	1,764

【ヒヤリハット報告】 0 件 (前年 0 件)

【事故報告】 2 件 (前年 0 件)

指定障害児通所支援事業所ハピネス浜野

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

【管理者兼児童発達支援管理責任者 1 名 保育士 1 名】

[報告事項]

- 1) 健康管理と感染予防に努めた。
- 2) 固定利用児の利用回数をご家族と相談し、必要に応じ利用日の調整を行った。
- 3) 個別支援計画書の理解に努め、個々の利用児の課題に取り組んだ。
- 4) 特別支援学校や他事業所との連絡を積極的に実施し、情報収集や共有に努めた。
- 5) ヒヤリハットや事故報告が起きた場合は情報共有し、早期に部署内で話し合う時間をもち、問題点を探り解決方法を見つけられるよう努めた。
- 6) ハピネス通信にて活動の様子を伝えた。
- 7) 新規契約は、児童発達支援利用 1 名、放課後等デイサービス 1 名。

【資金収支計算書による計画・実績（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

	計画	実績	差異
児童発達支援利用者延べ人（名）	308	191	△117
放課後デイ利用者延べ人数（名）	664	636	△28
合 計（名）	972	827	△145
児童発達支援 1 日あたり平均利用者（名）	1.2	0.8	△0.4
放課後デイ 1 日あたり平均利用者数（名）	2.6	2.7	0.1
合 計（名）	3.8	3.5	△0.3（92.1%）
児童発達支援事業収入（千円）＊	1,959	5,807	3,848（296.4%）
放課後デイ事業収入（千円）	17,766	11,611	△6,155（65.4%）
合 計（千円）	19,725	17,418	△2,307（88.3%）

【直近 5 年間の利用者の推移（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

※平成 27 年 10 月事業開始

	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1 日あたり平均利用者（名）	3.9	3.4	3.8	3.6	3.8
稼働率（%）	65	56.7	63.3	60.0	63.3
稼働日数（日）	259	251	257	251	240
利用者延べ人数（名）	1,020	845	972	907	827

【ヒヤリハット報告】 計 31 件

区分

外傷/転倒/転落前	3
医療関係	1
食事関係	4
事務処理関係	3
物損関係	2
修理 交換	1
確認不足	8
返戻忘れ	6
その他	3

前年度 19 件

【事故報告】 計 13 件

区分

外傷	3
転倒	1
医療関係	3
食事関係	4
事務処理関係	1
その他	1

前年度 14 件

次年度はヒヤリハット・事故の内容を人身系・物損系で分類し分析し、削減に取り組む。

【千葉市への事故報告】

0 件

【苦情等について】

なし

児 童 発 達 支 援

目 標

- ・様々な経験を積み重ね、遊びの中から自発性や、自己表現力を育てる。
- ・療育や訓練を通じて、自発性を発揮できるよう関わる。
- ・集団での活動により、家族以外の大人や子ども同士の関わりを広げる。

[報告事項]

- 1) 『朝のウォーミングアップ』のカリキュラムを継続して取り組んだ事で、自発的に身体を動かしたり、感情表出を促すことが出来た。
- 2) 集団活動は粗大運動や感覚（触・視・聴・前庭・固有）遊び等を中心に実施した。砂場、ボール、パラバルーン、マットそり、ボールプール、水遊び、ロールポケット、ブランコ、タオルブランコ、エアートランポリン、斜面台、滑り台、散歩、温水プール等、色々な感覚入力の経験が出来るよう取り組んだ。
個別活動に微細運動（お絵描き・紙ちぎり・ビニールテープ裂き・ボードゲーム等）の色々な感覚入力の経験が出来るよう取り組んだ。
- 4) サマーフェスは、水遊びやプール遊びを実施し水の感触を経験し、浮力の中で身体を動かして楽しめるよう環境を整えた。
- 5) オータムフェスはハロウィンパーティーを実施した。他職種へ依頼し1F～3Fまでをお化け屋敷のような環境にした。
- 6) ウインターフェスはクリスマス会を実施。装飾や音楽でクリスマスの雰囲気をつくり、お菓子やジュース等を食しながら、撮影会をした。
- 7) ひな祭りは子どもたちと一緒にひな人形を飾った。
- 8) 卒業式は今年度の卒業生は1名。入所の利用者と一緒に卒業パーティーをした。
- 9) 長期休み期間等、長期休暇は放デイ利用児との関りを楽しめるように支援した。
- 10) お友だちと一緒に、送迎車で外出活動を経験出来るよう支援した。

【直近5年間の利用者の推移】

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
1日あたり平均利用者（名）	1.2	1.3	1.2	0.7	0.8
稼働日数（日）	259	251	257	251	240
利用者延べ人数（名）	307	326	308	175	191
事業収入（千円）	4,184	4,370	4,877	5,201	5,807

放課後等デイサービス

目 標

- ・一人ひとりの障害特性を理解し、快適な時間を送れるよう計画・実施する。
- ・様々な経験を積み重ね、活動や他者との関わりの中から、自発性や自己表現力を伸ばす。

[報告事項]

- 1) 触刺激を中心に体幹刺激を入れるカリキュラムを作成し取り組んだ事で、覚醒率が上がり自発的に身体を動かしたり、感情表出を促せた。
- 2) 休み等には小集団で外出活動を取り入れた。年齢や発達状況に応じてグルーピングし、周囲にも興味関心や社会性を付けられるよう、外出場所を考慮し支援した。
- 3) 個別の関りが必要な状況の児童に対しては、1対1でじっくりと関わる時間を設けたり、散歩に出かける等の配慮し、快適な時間が送れるよう努めた。
- 4) 活動の中に、粗大運動や感覚遊び等を取り入れ、様々な(ボール、パラバルーン、マットそり、ボールプール、水遊び、ロールポケット、ブランコ、タオルブランコ、エアートランポリン、斜面台、滑り台、散歩等)経験が出来るよう取り組んだ。また、微細運動(紙ちぎり、新聞遊び、お絵かき、ボードゲーム等)も取り入れる事で、自発的に訴える等の感情表出を促せるように支援した。
- 5) 個別支援計画書通り、必要な利用児にたいしては個別の外出を実施した。

【直近5年間の利用者の推移】

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
1日あたり平均利用者(名)	2.7	2.1	2.6	2.9	2.7
稼動日数(日)	259	251	257	251	240
利用者延べ人数(名)	713	519	664	732	636
事業収入(千円)	13,309	9,849	11,280	13,956	11,611

【行事等実施報告】

月	行事内容	場 所
4月	お花見	施設周辺
5月	端午の節句	ねむの木広場
7月	七夕	ねむの木広場
8月	サマーフェス	中庭
10月	オータムフェス	会議室
12月	ウィンターフェス	会議室
3月	ひな祭り	ねむの木広場
3月	卒業式	ねむの木広場

＊月間活動：誕生会
 ＊外出活動：長期休み時等に小集団にて、グループにあった外出活動を提供
 ＊サマーフェス：夏休み期間中ハピネス浜野内の中庭にてプールを実施
 ＊オータムフェス：会議室を中心にハロウィンパーティーを実施
 ＊ウィンターフェス：会議室にてエアートランポリンやおやつパーティーを実施
 ＊ひな祭り：7段飾りのお雛様を子どもたちと一緒に飾る
 ＊卒業式：3階集会室にておやつパーティーを実施

グループホームセレンテ

(共同生活援助)

【管理者 1 名 サービス管理責任者 1 名 生活支援員・世話人 4 名】

目 標

- ・利用者の心身の状況に応じた生活スタイルを確立できるよう援助する。
- ・利用者の心身の変化を察知・理解し、事故予防に努める。
- ・利用者主体で行事の計画を立て、実施する。
- ・適切な財務と運営管理を行う。

[報告事項]

- 1) 空床 1 床 新規入居 1 名 退去 1 名
- 2) 入居者対応：通院：眼科 1 名 (緑内障)、脳神経外科 1 名 (通勤時の転倒による擦過傷)
8 月に新型コロナの感染 1 名を確認したが、居室隔離・感染症対策を実施し他利用者への感染を防ぐことができた。
- 2) 懇話会を実施し、入居者とともにセレンテ内ルールを確認した。
10 周年記念行事は、入居者の意見を取り入れてホテルブッフェでの食事や周辺の散策を楽しんだ。

【入居者年齢構成】

令和 8 年 3 月 31 日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計 (人)
セレンテ 入居者	男	0	1	1	0	1	0	0	3
	女	0	1	1	0	0	0	0	2
計		0	2	2	0	1	0	0	5

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数 (名)	2,020	1,771	△249
1 日あたり平均利用者数 (名)	5.5	4.9	△0.6 (89.0%)
事業収入 (千円)	20,759	18,004	△2,755 (86.7%)

【直近 5 年間の利用者の推移】

	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1 日あたり平均利用者（名）	5.8	5.7	5.5	5.0	4.9
稼働率（％）	96.6	95.0	92.4	84.0	81.0
稼働日数（日）	363	365	364	360	361
利用者延べ人数（名）	2,120	2,085	2,020	1815	1771
事業収入（千円）	20,900	21,429	20,559	18,134	18,004
平均障害支援区分	3.8	4.2	3.9	3.4	3.4

【活動実施報告】

月	活 動	場 所
4 月	花見（5 日）	大百池公園
	懇話会（24 日）	セレニテ
10 月	歓迎会（17 日）	セレニテ
11 月	紅葉狩り（22 日）	茂原公園
12 月	忘年会（25 日）	セレニテ
2 月	節分祭（3 日）※行事食の提供	諏訪神社・セレニテ
	懇話会（18 日）	セレニテ
3 月	10 周年記念行事	スカイクルーズマクハリ ボタニカミュージアム
週末	買い物	ベイシア（八幡店）等

【ヒヤリハット報告】 計 57 件

区分

医療関係	5
外傷・転倒・転落前	6
確認不足	21
事務処理	2
修理・交換	6
食事関係	11
整備不良	2
物損関係	3
返戻忘れ	1

前年度 17 件

【事故報告】 計 15 件

区分

医療関係	1
誤薬 落薬	3
事務処理関係	3
転倒	3
転落	2
物損 購入	1
物損関係	1
その他（職員）	1

前年度 15 件

食事関係、確認不足によるヒヤリハット報告が増加した。業務の手順等を再検討し、ミスを減らしていく。

【千葉市への事故報告】

0 件

【法人職員研修等・実習生受け入れ等実施報告】

月	研 修 等 〈法人委員会研修〉	実習生等 受け入れ
4 月	4 月の中央区意見交換会（きぼーる）	
5 月	社会保険制度（Zoom）	保育実習Ⅰ
6 月	関ブロ職員支援力アップ勉強会（宇都宮市） 日本年金機構・社会保険制度説明会（Zoom） ソーシャルワーク実習支援システム利用に関する実習先向け説明会（Zoom） 自然災害 BCP について 防災用品・備蓄食品について〈防犯防災委員会〉	
7 月	障害者の権利擁護・意思決定支援研修（Zoom） 県身協第 1 回職員研修会（サンライズ九十九里） 嘔吐物処理研修①〈感染症対策委員会〉	保育実習Ⅰ
8 月	安全運転管理者講習（市原市民会館）	保育実習Ⅰ
9 月	第 4 7 回全国身体障害者施設協議会研究大会（富山市） 令和 7 年度国勢調査員説明会（きぼーる） 就労選択支援事業について（千葉市役所） 今、事業者求められるカスハラ防止対策（Zoom） 未来を紡ぐ福祉施設のかたち（ウチダシステムズフェア交通会館） 職員健康管理研修〈安全衛生委員会〉 身体拘束廃止に向けての研修①〈身体拘束廃止委員会〉	
10 月	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー：千葉県社会福祉センター 中堅職員：千葉市社会福祉センター） 令和 7 年度高齢者給食施設研修会（千葉市保健所） さすまた使用訓練・担架の使い方実習（防犯防災委員会）	ソーシャル ワーク実習Ⅰ
11 月	県身協 第 2 回職員研修会（サンライズ九十九里） 令和 7 年度第 5 回千葉市内全区合同研修会（稲毛区保健センター） 千葉市介護テクノロジーフェア（オークラ千葉ホテル） 福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者） 身障協 第 1 3 回職員スキルアップ研修会（灘尾ホール） 嘔吐物処理研修②～居室編～〈感染症対策委員会〉	
12 月	社会福祉法人会計研修～実践編～（Zoom）	
1 月	社会福祉法人会計実務者決算講座（Zoom） 権利擁護の基礎知識〈虐待防止委員会〉	
2 月	県身協 職員スポーツ大会（サンライズ九十九里） 第 2 回給食施設研修会（Zoom）	
3 月	身障協 第 3 8 回経営セミナー（灘尾ホール） 拠点福祉避難所制度に係る説明会（Zoom） 令和 7 年度千葉県相談支援従事者専門コース別研修：発達障害者支援（千葉市文化センター） スピーチロックについて〈虐待防止委員会〉 身体拘束と高齢者虐待 スピーチロック②〈身体拘束廃止委員会〉	

【外部研修等】 ・利用者支援、キャリアパス、法人経営等の研修に参加した。

【実習生等受け入れ】 ・保育実習Ⅰ 3 名 千葉こども福祉専門学校
・ソーシャルワーク実習Ⅰ 2 名 明治学院大学
・介護福祉士養成校からの実習生はなし。

【法人内委員会・諸会議実施報告】

① 安全衛生委員会 … 職員の安全及び労働衛生の改善

[報告事項]

- 1) 職員健康相談の相談数は年間 0 件だった。
- 2) 部署内では大掃除を 2 回、産業医とともに衛生管理者が施設内巡回を 2 回実施した。
- 3) 「日本人の食事摂取基準（2025 版）を参考に、「食事を意識して生活習慣を見直す」目的の研修を実施した。
- 4) 健康診断（腰痛検査含む）、インフルエンザの予防接種、ストレスチェックを実施した。
- 5) 育児休業者：2 名（看護師・保育士）
- 6) 時間外労働超過者：0 件

② リスクマネジメント委員会 … 施設全体のリスクマネジメント

[報告事項]

- 1) 報告書の様式を改定し、分類を人身系・物損系・事務系と分け、区分を明確にすることにより、今までうやむやになって報告されていなかったらう事象も迷わず報告するようになった。また、軽微なことでも報告しようとする意識が高まり、ヒヤリハット・事故とも報告数が多くなった。法人全体 ヒヤリハット 307 件 事故 195 件
- 2) 月ごとに委員 2 名が担当となり、ヒヤリハット報告書は、対策のためのフィードバックを、事故報告書は、提出者と委員とで「なぜなぜ分析」を行い、再発防止を図った。報告書の未提出者に対しては、月終わりに連絡し提出するよう促した。
- 3) リスクマネジメント委員が中心となり、カスタマーハラスメント対策会議を実施し、対応した。
- 4) リスクマネージャーを中心に職員が協力して、物品・書類・古いデータの断捨離を行った。「どこになにがあるのかわからない」を減らし、整理整頓・視覚化に取り組んだ。

③ 感染症対策委員会 … 施設内感染の予防及び発生防止のための対策と職員教育

[報告事項]

- 1) 入所利用者においてはインフルエンザ 1 名・感染性胃腸炎等の発生はなかった。職員のコロナウイルス感染者が出たものの、入所ご利用者への二次感染はなかった。
- 2) 感染予防対策のための自己チェックシート配布・集計と環境巡視を年 3 回実施した。感染性胃腸炎については利用者へのポスター作成・掲示し、職員・利用者への協力と感染対策への意識づけを図った。
- 3) 嘔吐物処研修を年 2 回行い、基本的な嘔吐物処理・居室での嘔吐物処理対応について、動画・設問形式にて処理時の手順を確認し手技の統一を行った。感染発生時や発熱時の対応・嘔吐物研修に際し事前に委員間での研修や情報の共有を図り予防に努めた。

④ 身体拘束廃止委員会 … 不要な身体拘束のない介護実践の取り組み、内部研修の実施

[報告事項]

- 1) 車椅子のベルト等、またベッド柵の使用状況を再確認して、身体状況に伴う理由と安全に利用できる方法を再検討した。新入職員を含めて、改めて支援の現場に周知する機会とした。
- 2) 身体拘束に関する同意書を作成し、利用者家族への説明および署名をいただいた。
- 3) 施設内研修として、1 回目は身体拘束廃止の基礎的な内容を復習するために動画視聴を用い、2 回目は身体拘束について具体的な内容として「スピーチロック」を課題にして、意見や課題を記述形式とした。また、来年度にむけて、職員の「介護観」も取り入れた情報収集を行った。

⑤ 虐待防止委員会 … 虐待に関する調査と検討 人権擁護・虐待防止のための職員教育

[報告事項]

- 1) 虐待の早期発見や自身の振り返りをする為の「職員セルフチェックリスト」を、2回（9月、2月）実施した。
- 2) 不適切なケア発生時の委員会としての対応や取り組みについて検討した。
- 3) 全職員対象で虐待防止に繋がる研修（権利擁護、意思決定支援とスピーチロック）を資料研修で実施した。
- 4) 虐待・不適切なケア防止に関するポスターを館内各所に掲示し、啓発活動を行った。

⑥ 防犯・防災委員会 … 防災計画の立案・実施と防犯・防災対策の推進、内部研修の実施

[報告事項]

- 1) 防災備品の整理を行い、ヘルメット、消火器、さすまた等の置き場所意を確認、整備した。
- 2) 利用者参加で避難訓練（総合1回、水害想定1回、夜間想定1回）を実施した。
- 3) 内部研修として、職員全員を対象に、消火器とさすまた・担架の使い方に関する研修を行った。
- 4) 緊急連絡網を用いた緊急伝達訓練を実施した。
- 5) 委員を中心に備蓄品の入れ替えや期限や収納場所の確認を行った。

⑦ 運営会議 … ハピネス浜野の運営管理

[報告事項]

- 1) 利用者関連事項を各部署で検討した。（入所調整会議も同じメンバーで実施）

⑧ 給食会議 … 利用者の食事全般や衛生に関する取り組み、給食委託業者との話し合い

[報告事項]

- 1) 給食委託業者と施設長・栄養士・サビ管・児発管が参加して2ヶ月に1回、利用者の喫食状況の把握、食事形態・量の検討を行い適宜変更し、食事を提供した。
- 2) 行事食の検討および防災食の入替を実施した。

⑨ 経営会議 … 法人、各事業の関係者による運営管理

[報告事項]

- 1) 法人の各事業の運営（利用者・職員・収支等）について検討した。

⑩ 全体会議 … 全職員へ法人・施設の報告事項を伝える

[報告事項]

- 1) 利用者関連事項、事務（給食）、行事関係等を文書により連絡した。

⑪ リーダー・メンター会議 … 生活支援部門における課題の検討

[報告事項]

- 1) リーダーとメンターが合同で新人育成、行事、業務改善等を話し合った。
- 2) メンター中心に新入職員へOJTを実施した。